

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名				コード	39191	広域排水計画の策定	予算科目	会計	一般	款	項	目	事業種別	土木班
基本施策				21		良好な生活環境の形成	根拠法令						☒	主な事業
施策の展開				39		住み良い住環境の確保	戦略事業	191	広域排水計画の策定				☒	国土強靱化地域計画
施策の展開													☐	新市建設計画
													☐	定住自立圏構想
													☐	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市域全域について、排水計画を策定する。 ・流域・流末調査 ・排水整備事業に反映する
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。	道路冠水対策は、局所的な排水整備では解決が困難であり、広域的な排水系統に基づいた計画整備が必要となる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
未だ冠水被害が生じている地域があり、解消が望まれている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)	単位: 千円
	-
	-
	-
	-
	-
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)	単位: 千円
1. 国庫支出金	-
2. 都道府県支出金	-
3. 地方債	-
4. その他	-

事業費	費目内訳	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
		千円	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-
		千円	-	-	-	-	-
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0
	1. 国庫支出金	千円	-	-	-	-	-
	2. 都道府県支出金	千円	-	-	-	-	-
	3. 地方債	千円	-	-	-	-	-
	4. その他	千円	-	-	-	-	-
	5. 一般財源	千円	0	0	0	0	0

前年度	
増減理由	

従事職員数	常時	0 人	最大	0 人	×	0 日	=	延べ	0 人
-------	----	-----	----	-----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動)								
	特になし		ア 排水計画策定	地区	-	-	-	-	-
			イ						

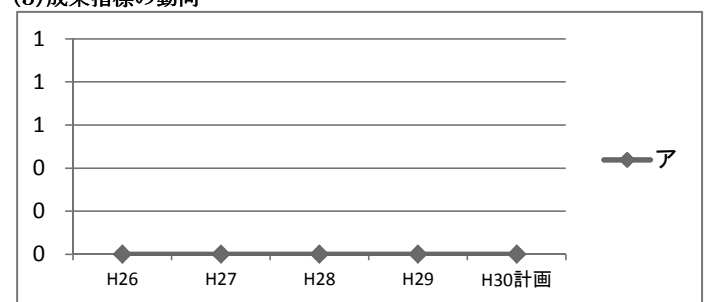
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象意図		ア 排水整備延長	m	-	-	-	-	-
	対象意図		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)
	☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 予算化しておらず、実施予定がないため	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画 ア - - - - - イ	今後の方向性 ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 () 未定 費用対効果を検証しつつ、状況を見極めながら計画策定を図る。